

(様式 5-1)

地域重点施策推進事業事後評価調書(令和3年度実施分)

地域振興局名

山本地域振興局

(地域施策推進事業)

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
地域連携DMO等との連携 による国内誘客促進	総務企画 部	小原 友 明	地域企画 課	企画・しら かみ観光 振興班	0185-55- 8004	関係機関との連携により、国内 観光客の誘致に向けた事業を 実施した。	1,652,842	①JR東日本等との連携による誘客 促進事業 JR東日本秋田支社及び青森県と 共同で、世界自然遺産「白神山地」 への誘客PRを行った。 【白神山地PR動画】 白神山地を巡るツアー動画を制作 し、Youtube、JR東日本ウェブサイ トや各県WebサイトでPRを展開す るとともに、「大人の休日倶楽部」 会員向けにDVDを配布した。 ・配布数: 140名 【ウェブサイト・SNSアカウントを活 用した情報発信】 白神山地のコラムやマンガを制作 し、リツイートキャンペーンを行っ た。 ・リツイート数: 580 ②旅行商品造成に向けた現地視 察の実施 新型コロナウイルス感染症の拡大 を契機として、「3密」の回避やアウ トドアニーズの高まりなど、新たな 旅行スタイルへの対応が求められ ていることから、小グループ単位や 中型バス程度までの集客数を前提 とした旅行商品の造成に向けた現 地視察を実施した。 ・実施日: R3.11(計2回、各1泊2日) ・参加者: 4社4名(東京都新宿区1 社、同杉並区1社、同豊島区1社、 埼玉県さいたま市1社) ③あきた白神エリア県内誘客促進 プロモーション事業 秋田魁新報社(編集:サキガケ・ア ド・ブレン)が発行する「マリ・マ リ」に、「あきた白神エリアを遊ぶ! ママとキッズのプチトリップ」など、 春の子ども連れ小旅行を促す内容 の紙面PRを実施した。 ・発行日: R4.3.25 ・部 数: 19.1万部 ・応募数: 150件	県、JR東日本 秋田支社、地域 連携DMOあき た白神ツーリス ム	観光客、 観光関連 事業者	令和3年4月1日 令和4年5月13日	① ・コロナ禍で現地に行くことがで きない状況の中、本事業でDVD を送付した会員から感謝の手 紙やツアーの開催を心待ちに するというコメントが寄せられ た。また、Twitter、Instagramを 利用して行ったリツイートキャン ペーンでは、580リツイートと多く の方の参加があり、また、 40,575インプレッションと多くの 方がツイートを閲覧した。 ② ・参加4社とも商品採用に好意 的な反応があり、各施設に対す る評価はDMO会議を通じて提 供できた。参加者のうち1社は 商品造成を検討しており、事業 実施の効果が出ている。 ③ ・女性向けのフリーペーパーに 掲載したことで、若い家族層を 中心に周知し、プレゼント企画 にも多くの応募が寄せられた。 ・春季及び大型連休に向けた管 内観光スポット誘客促進につな げることができた。	① ・コロナ禍により現地に行くこと ができな状況の中、PR動画 やリツイートキャンペーンによ り、白神山地への関心の維持・ 醸成をすることができた。 ② ・コロナ禍の移動自粛制限が続 きオフシーズン前のツアー催行 になり、ベストシーズンを紹介で きなかった。次年度に向けて、 ベストシーズンの紹介ができる よう継続した情報提供を行いた い。 ③ ・感染拡大地域との移動が制限 されるなか、近距離の旅行先に 山本管内を提案したことによる 成果を期待したい。

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
誘客促進に向けた管内受 入態勢整備事業	総務企画 部	小原 友 明	地域企画 課	企画・しら かみ観光 振興班	0185-55- 8004	アフターコロナを見据えた観光 資源のブラッシュアップに取り 組んだ。	939,110	インバウンド誘客を見据えた滞在型観 光スタイル実践・研修事業 宿泊施設等における訪日外国人旅行 者の旅行満足度を高めるため、国際 教養大学の学生等をモニターとした対 応力向上のための実践研修を八峰町 で実施した。 【モニタリングイベント】 ・実施日：令和4年2月5日～6日、2月 12日～13日 ・参加者：6名（各回3名） ・内 容：農家民宿等における宿泊体 験、料理体験、雪遊び体験 等 【勉強会】 ・実施日：令和4年3月29日 ・参加者：11名（モニタリングイベント協 力事業者、八峰町観光協会、あきた白 神ツーリズム等） ・内 容：モニターからの意見を踏まえ た今後の取組に関する意見交換	県	観光関連 事業者、 首都圏在 住者	令和3年4月1日	・コロナ収束後を見据え外国人 留学生・留学経験者のモニター ツアーにより、八峰町地域の観 光素材の外国人受け入れに対 して良かった点、改善点を明確 に打ち出すことができた。 ・参加した観光事業者がそれぞ れ前向きにとらえ、オンラインツ アー等による発信・交流を強化 したいとの意見が多く出され た。	・インバウンド誘客が困難のなか、外国人留学生・留学経験者が外国人視点で体験コンテンツのよかった点がたくさん得られた。 ・コロナが収束してオンラインツアーからリアルツアーに切り替わる際にすぐに活用できるアドバースであり、地元観光事業者の自信にもつながった。
											令和4年5月13日		

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
地元就職意識啓発支援・ 管内企業活動支援事業	総務企画 部	小原 友 明	地域企画 課	企画・しら かみ観光 振興班	0185-55- 8004	若者が地元で活躍する企業を 知る機会の確保や人材の確保 と定着を図る取り組みにより能 代山本地域で活動する企業を 支援した。	1,259,722	①ふるさと企業「仕事ナビ」の配布 管内企業で働く若手社員へのイン タビュー記事などをまとめた冊子を 作成し、高校生等へ配布した。 □配布先:管内高等学校3校、管 内支援学校高等部、県内大学、管 内市町、商工団体 等 ②ふるさと企業・業種ガイド 能代市等と連携し、高校2年生を対 象にした管内企業等の説明会を開 催し、高校生の地元就職の促進を 図った(Zoomによる実施)。 ・開催日: R4.1.31 ・参加者: 高校2年生130人、企業等 21社 ③中学生ふるさと企業紹介事業 能代市等と連携し、中学2年生等を 対象にした管内企業等の説明会を 開催し、地元就職に対する意識の 醸成を図った(Zoomによる実施)。 ・開催日: R3.11.22 ・参加者: 能代市中学2年生(一部、 3年生含む)347名、民間企業等 12社 ④能代山本関東圏企業懇談会 □主 催: 能代関東圏企業懇談会 実行委員会(管内市町及び振興 局) □コロナの影響で東京での懇談会 を中止し、管内の特産品や観光パ ンフレット、企業支援策の案内を誘 致企業やその本社・親会社等に送 付し、結び付きの強化を図った。 □送付先: 74社 ⑤若手社員スキルアップ研修会 能代山本雇用開発協会と連携し、 若手社員を対象とした研修会を行 い、個々のスキルアップを図ると ともに、企業間を超えた横のつなが りを構築することで、若手社員の地 元定着を促進する事業を実施し た。 ・開催日: 第1回 R3.12.8、第2回 R4.2.25 ・会場: 第1回 プラザ都、第2回 Zoom ・参加者: 第1回 15名、第2回 4名 ⑥管内企業向け洋上風力セミナー 能代市等と連携し、一般海域洋上 風力発電の選定企業から地元企 業等に対する説明会を実施し、洋 上風力発電事業への参入を促し た。 ・開催日: R4.3.23 ・会場: プラザ都 ・参加者: 企業等58社	県、市、商工団 体等	高校生等	令和3年4月1日 <		

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
高校と連携した農業人材・ 労働力確保対策事業	農林部	小棚木 栄作	農業振興 普及課	担い手・経 営班	0185-52- 1241	管内の高校生とその保護者に 対して就農に関するセミナー、 就業体験等を実施し、職業選択 肢の一つとしての農業の意識 付けを図った。	141,767	①アグリセミナー「農業を仕事にし よう!!」職場見学 農業法人を訪問し、業務内容、雇 用条件等の説明、職場見学の実施 ・開催日: R3.6.28 ・視察先: (有)峰浜培養、(農)轟ネオ ファーム、(株)アルビオン白神研究 所、朝場畜産(株) ・参加者: 能代科学技術高生物資 源科2年生 31名 ②地域農業インターンシップ研修 希望する農業法人2経営体で、5 日間の就業体験研修を実施 ・開催日: R3.7.26～30 ・場 所: (農)轟ネオファーム、朝場 畜産(株) ・参加者: 能代科学技術高生物資 源科2年生 4名 ③就農啓発 農業を仕事にするための就農形 態、就農支援施策等を掲載したチ ラシの作成 ・部 数: 2,000部 ・配布先: 管内全高校1・2年生、市 町	県	高校生等	令和3年4月1日	①② ・生徒からは、農業関連の就職 を考えていなかったが体験を得 て興味がわいた、将来就職する 上で今回の経験を生かしたいと する意見があった。 ①② ・受入先の農業法人からは、農 業の仕事を理解してもらえて良 かった、将来従業員になってほ しいとの声があった。	①～③ ・非農家出身の生徒が多く、自 営就農はハードルが高いが雇 用就農という職業選択肢がある ことを周知できる機会となった。 ② ・雇用就農の場合、高校生は正 職員を希望しているが、管内の 農業法人では正職員のハロー ワークへの求人登録が少なく、 雇用する側の環境整備が必要 である。 ①～③ ・職場見学やインターンシップ 等で、高校生と農業法人との関 わり合いを深めながら、継続し て就農啓発を行うことが重要で ある。
											令和4年5月13日	①～③ ・学校側からは、就職した時の イメージが出来て良い、研修後 雇用就農を希望したいと話す生 徒がいたとの意見があった。ま た、新型コロナウイルス感染症 の感染拡大防止のため、予定 していた地域農業体験研修、ア グリビジネス研修を中止した が、農業に特化した職場体験等 は学校ではできないため、是非 継続して実施してほしいとの要 望があった。 ①② ・昨年参加した3年生のうち、3 名が雇用就農した。	

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
山本地域で掘り起こせ！ 農業人材・労働力確保対 策事業	農林部	小棚木 栄作	農業振興 普及課	産地・普及 班	0185-52- 1241	山本地域における農業労働力 を確保するため、農福連携が円 滑に定着する仕組みづくりを支 援するとともに、多様な層から の労働力の掘り起こしを図っ た。	287,948	①農業者との橋渡しのためのトライ アル期間を設定 農福連携取り組み希望生産者との 就労前トライアル(お試し期間)を 支援した。 ・開催日: R3.7.26～8.19(トライアル 日数 14日間) R3.8.23～8.31(トライアル日数6日 間) R3.9.10～R3.12.17(トライアル日数 14日間) ・受入先: (同)久保井ファーム(能 代市) (3名) (株)アグリほんだ(八峰町) (9 名) (株)福司農地管理事務所(能代 市)(4名) ・トライアル実施者: アトリエ・デ・ソ レイユ尚生、びあわーくを利用する 障がい者 のべ103名 ②子育て世代へのPR/パンフの作 成配布 パンフにより「白神ねぎのお仕事体 験会」の開催のPRを行った。 ・部 数: 8,700部 ・配布先: 能代市内の幼稚園・保育 園・小中学校 ③白神ねぎのお仕事体験会 ネギ調製作業を見学、また実際に 経験させ、無料職業紹介所への求 職者登録及び1日農業バイトアプリ 「daywork」の利用を促した。 ・開催日: R3.8.4、9.8、10.13、10.20 ・受入先: 能代市農業技術センター ・参加者: 延べ17名(能代市内の求 職者)	県	①農業法 人、福祉 事業所 ②③子育 て世代親 (求職者)	令和3年4月1日 令和4年5月13日	① ・トライアルを実施した障がい者 は全員、トライアル終了後も継 続しての就業を希望している。 ②③ ・子育て世代向けアグリツアー に参加した17名のうち、1名が 現場への雇用につながった。ま た、参加者の満足度はいずれ も高かった。	① ・大規模経営体の労働力確保と ともに、障がい者の工賃単価 (健常者の時給に相当)の向上 に結びつくことが期待される。 ②③ ・子育て世代向けアグリツアー のような求職者向けの職業体 験は、農業未経験者の農業現 場への参入を後押しするもので あり、園芸労働力確保への貢 献が期待される。

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
能代木材インダストリーPR事業	農林部	小棚木 栄作	森づくり推 進課	林業振興 班	0185-52- 2181	能代・山本地区の地場産業である林業・木材産業を支える人材を確保するため、中学・高校生を対象とした巡回講座を行い、地元企業への就業に向けたきっかけづくりを行った。	198,000	①地域の中学校を対象に林業・木材産業に関する講話や木工体験を実施した。 ・開催日: R3.8.19[能代南中学校] R3.10.15[能代第一中学校] ・会 場: 能代市木の学校(能代市河戸川南西山) ・参加者: 27名(生徒のほか先生及び関係者を含む) ②高校生を対象に林業・木材産業に関する講話や地元企業プレゼン及び木工体験を実施した。 ・開催日: R3.11.24[能代科学技術高校] R4.1.17[金足農業高校] ・会 場: 能代科学技術高校、能代市木の学校(能代市河戸川南西山) ・参加者: 40名(生徒のほか先生及び関係者を含む)、参加企業: 4社 ③コロナ禍の対策として、オンライン講座(Zoomによる木工体験)を試行した。 ・開催日: R3.10.20 ・参加者: 8名(一般参加者)	県、能代木材産業連合会	中学・高校生等	令和3年4月1日	・今年度巡回講座の参加者からは、「木材会社で働くのも面白そう。進路の一つとして考えたい」との意見があったほか、令和2年度巡回講座の参加者(当時高校2年生)から地元木材企業へ就職したと聞いており、当該事業の目的である「きっかけづくり」はできた。	・令和2年度から実施している「能代木材インダストリー推進事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながらの実施となり、当初計画していた地元木材加工企業の職場見学会を取り止めたほか、巡回講座を要望していたものの開催を見送った学校もあった。こういったコロナ禍での対策として、組子の木工体験をオンラインにより試行した。参加対象者が能代市内や近隣市町村に制限されることなく開催できるメリットがあり、今後活動していくうえで有効に活用できると考える。
											令和4年5月13日		
建設産業の「魅力・やりがい」発信事業	建設部	村上 龍 巳	企画・建設課	企画監理班	0185-52- 6101	建設業の担い手確保のため、地元高校生の進路選択の参考となるよう、情報発信を行った。	293,700	建設ICT現場見学会 情報通信技術を活用した施工について、ICT建機やドローンに触れる体験を実施した。 ・開催日: R3.10.27 ・視察先: 国道7号切石地区道路改良工事現場 一般県道西目屋二ツ井線荷上場バイパス(グミノ木橋)工事現場 ・参加者: 能代科学技術高校2年生5名	県、能代山本建設業協会	高校生	令和3年4月1日	・「ICTの導入によって、多くの人が集まって仕事するやり方から少人数で効率よく進められていることが分かった。」「普段勉強していることの実際が分かるので、勉強する意味や意欲がはつきりしてくる」の意見があった。	・建設産業において労働環境や生産効率の改善が進められていることをPR出来た。 ・一方、就職先の選択については給料が主な理由となっているとの声も聞かれた。生産性向上のためには企業向けに情報通信技術の導入支援をすることも有効と考えられる。
											令和4年5月13日		

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
山本地域の安全安心・危機管理体制強化事業	総務企画部	小原 友明	地域企画課	企画・しらかみ観光振興班	0185-55-8004	振興局内、及び関係機関との連携により、山本地域管内の防災力を強化するための事業を行った。	131,058	①能代山本地域防災力強化研修 秋田地方気象台と連携し、管内4市町、能代河川国道事務所、消防、警察等、管内の防災関係機関を招集し、災害時の対応についての研修を実施した。 ・開催日：R3.6.29 ・会場：山本地域振興局庁舎3階大会議室 ・参加者：秋田地方気象台、市町防災担当職員、能代河川国道事務所職員、消防、警察、県職員	県、秋田地方気象台	管内防災関係機関	令和3年4月1日	① ・アンケートでは全員がワークショップに参加してよかった、業務に役立つ知識や情報を得られたと回答した。 ・防災関係機関同士の相互連携のため、担当者の顔の見える関係を構築することができたという意見が参加者から聞かれた。	① ・気象台の専門的な講習内容について、難易度の高さを上げる参加者もいたことから、地域の実態を踏まえた内容を重点的に抑えた内容とし、できるだけ理解習熟に向けた方法を精査する必要がある。
								②高病原性鳥インフルエンザ等防疫演習 北部家畜保健衛生所と連携し、管内で鳥インフルエンザ等が発生した場合の防疫対応を確認するための演習を実施した。 ・開催日：R3.11.5 ・会場：山本地域振興局庁舎内 ・参加者：北部家畜保健衛生所職員、山本地域振興局内各部職員			令和4年5月13日	② ・防疫対応の手順・対応確認について、異動や新規採用となった職員を中心に、理解を進めることができた。	